



最近の山梨県の経済情勢

令和2年8月4日

財務省関東財務局

甲府財務事務所

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、一部に下げ止まりの動きがみられるものの、
新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる」

項目	前回（2年4月判断）	今回（2年7月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、弱含んでいる	一部に下げ止まりの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	→

（注）2年7月判断は、前回4月判断以降、足下（7月末）の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は一部に下げ止まりの動きがみられるものの、感染症の影響により、弱含んでいる。生産活動は感染症の影響がみられるものの、足下では下げ止まりつつある。雇用情勢は感染症の影響により、弱い動きとなっている。

【各項目の判断】

項目	前回（2年4月判断）	今回（2年7月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	一部に下げ止まりの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	→
生産活動	足踏みの状況にあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、足下で弱含んでいる	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では下げ止まりつつある	↗
雇用情勢	改善の動きに一服感がみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	↘
設備投資	元年度は増加見込みとなっている	2年度は減少見込みとなっている	↘
企業収益	元年度は減益見込みとなっている	2年度は増益見込みとなっている	↗
企業の景況感	「下降」超幅が拡大している	「下降」超幅が拡大している	→
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	→

【先行き】

先行きについては、各種政策の効果もあって、厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、感染症が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ **個人消費** 「一部に下げ止まりの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる」

百貨店・スーパー販売額（店舗調整前）は足下で下げ止まりの動きがみられるものの、乗用車の新車登録届出台数は前年を下回っており、観光・宿泊は弱い動きが続いている。これらのことから、個人消費は一部に下げ止まりの動きがみられるものの、全体として感染症の影響により、弱含んでいる。

(主なヒアリング結果)

- 緊急事態宣言が解除された6月以降、徐々に客足が戻りつつある。外出自粛などによる買い控えからの反動需要もあり、夏物衣料やリビング用品の売れ行きが好調である。(百貨店・スーパー、中小企業)
- 県をまたぐ移動が解除された後、それまで売上が減少していた観光地周辺の店舗において行楽用品などの売上が増加しており、回復の兆しがみられる。(百貨店・スーパー、中小企業)
- 新車のリリースが遅れていることに加え、新型コロナウイルス感染症の影響により来店者数が減少したこと、メーカーが一時生産を停止した影響で長納期化していることにより、販売台数が減少している。(自動車販売、中小企業)
- 県の休業要請を受け、宿泊施設では県をまたいだ移動の自粛が解除された後も休業を継続した。また、営業を再開したレジャー施設についても客足は戻っておらず、依然として厳しい状況が続いている。(娯楽、中堅企業)

■ 生産活動 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では下げ止まりつつある」

電気機械は減少しているものの、足下では下げ止まりつつある。また、生産用機械、食料品などは増加している。これらのことから、生産活動は感染症の影響がみられるものの、足下では下げ止まりつつある。

- 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、海外生産拠点においてロックダウンが発生。工場稼働率が低下したため、車載向け電気機械を中心に生産が減少した。(電気機械、大企業)
- 新型コロナウイルス感染症に対する新薬の開発需要を受け、製薬業界向け電気機械の受注が増加している。(電気機械、大企業)
- 緊急事態宣言解除後、国内向けは半導体製造装置関連を中心に受注が戻り始めており、海外向けについても引き合いが増加している。(生産用機械、中小企業)
- 緊急事態宣言下および解除後のいずれについても、巣ごもり需要を受け菓子類の受注が好調。コロナ禍以前からの広告宣伝活動が奏功したため商品認知度が向上し、新規顧客が増加したことも一因である。(食料品、中小企業)

■ 雇用情勢 「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている」

有効求人倍率は感染症の影響により低下しており、弱い動きとなっている。

- 国内、海外ともに緊急事態宣言やロックダウンの影響により受注が減少しており、コロナ禍以前は適正だった人員が、足下では過剰となっている。(自動車・同附属品、中堅企業)
- コロナ禍の影響で受注が減少しているなか、正社員の雇用は維持したものの、派遣社員については減員せざるを得なかった。(汎用機械、大企業)

■ 設備投資 「2年度は減少見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」2年4-6月期

- 2年度の設備投資計画をみると、製造業では前年比▲25.1%の減少見込み、非製造業では同14.6%の増加見込みとなっており、全産業では同▲16.9%の減少見込みとなっている。

■ 企業収益 「2年度は増益見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」2年4-6月期

- 2年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)をみると、製造業では前年比17.7%の増益見込み、非製造業では同8.3%の増益見込みとなっており、全産業では同16.7%の増益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超幅が拡大している」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」2年4-6月期

- 景況判断BSIをみると、全規模・全産業ベースで「下降」超幅が拡大している。先行きについては、全規模・全産業ベースでみると、2年7~9月期に「下降」超幅が縮小する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回っている」

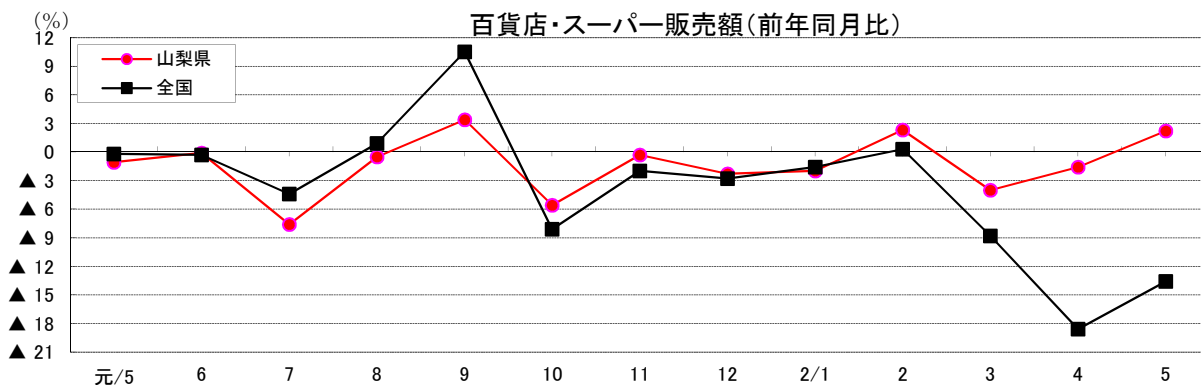
- 新設住宅着工戸数をみると、持家は前年を上回っているものの、貸家は前年を下回っており、全体として前年を下回っている。

- 新型コロナウイルス感染症の影響で営業機会が失われていることに加え、勤務先の業況悪化などにより将来収入に不安を抱える消費者の購買意欲が低下。契約済案件の解約も発生しており、受注が減少している。(不動産、中小企業)

1. 個人消費 …… 一部に下げ止まりの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる

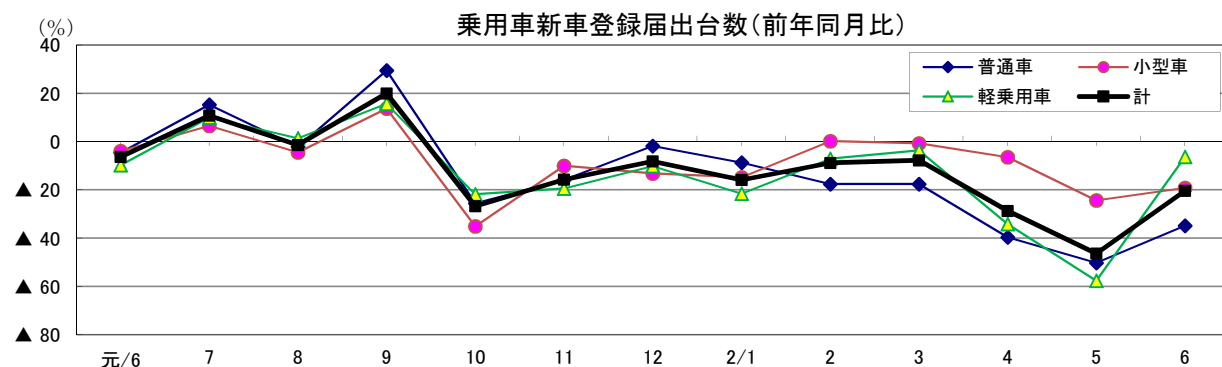
百貨店・スーパー販売額(店舗調整前)は足下で下げ止まりの動きがみられるものの、乗用車の新車登録届出台数は前年を下回っており、観光・宿泊は弱い動きが続いている。

これらのことから、個人消費は一部に下げ止まりの動きがみられるものの、全体として感染症の影響により、弱含んでいる。



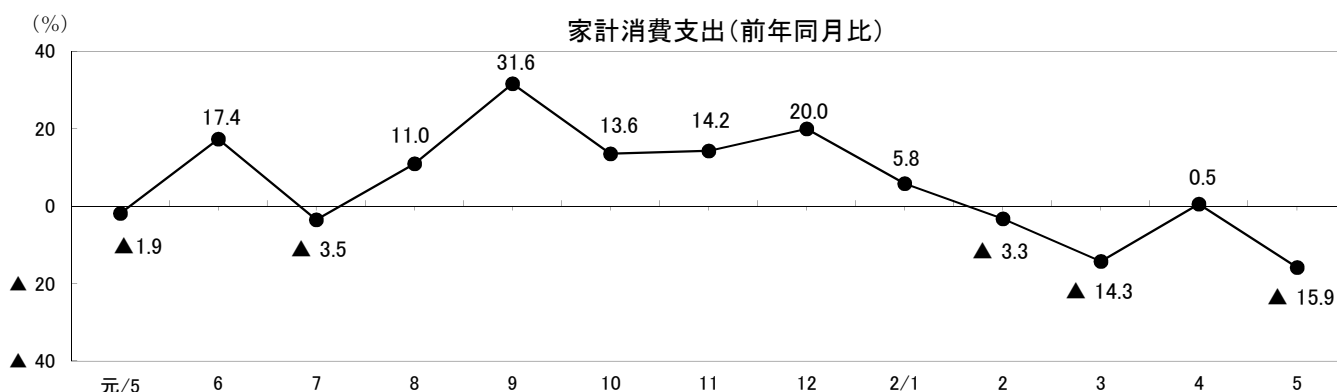
	元/5	6	7	8	9	10	11	12	2/1	2	3	4	5
山梨県	▲1.1	▲0.1	▲7.6	▲0.5	3.4	▲5.6	▲0.3	▲2.3	▲2.0	2.3	▲4.0	▲1.6	2.2
全国	▲0.2	▲0.3	▲4.4	0.9	10.5	▲8.1	▲2.0	▲2.8	▲1.6	0.3	▲8.8	▲18.6	▲13.6

注)店舗調整前 「経済産業省」



	元/6	7	8	9	10	11	12	2/1	2	3	4	5	6
普通車	▲4.6	15.3	▲2.2	29.5	▲25.6	▲15.9	▲1.8	▲8.7	▲17.6	▲17.5	▲39.5	▲50.1	▲34.8
小型車	▲3.9	6.5	▲4.5	13.7	▲35.1	▲10.0	▲13.2	▲14.8	0.1	▲0.8	▲6.5	▲24.3	▲19.2
軽乗用車	▲9.8	10.0	1.3	15.7	▲21.8	▲19.4	▲10.2	▲21.6	▲7.1	▲3.7	▲34.1	▲57.7	▲6.3
計	▲6.3	10.8	▲1.4	20.0	▲26.8	▲15.8	▲8.2	▲15.9	▲8.8	▲7.8	▲28.8	▲46.3	▲20.4

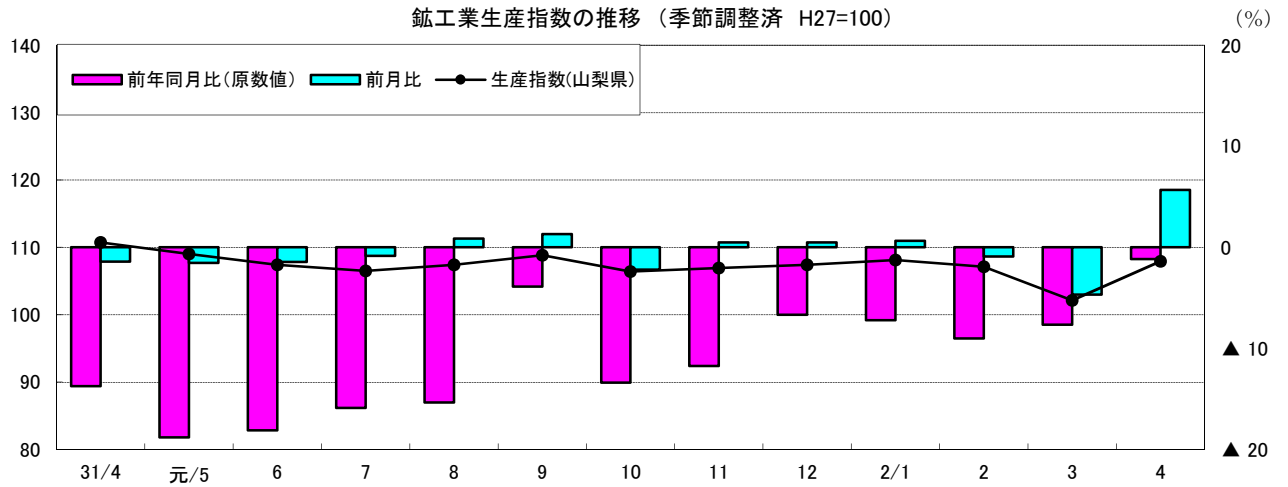
「(社)日本自動車販売協会連合会・山梨県軽自動車協会」



注)甲府市、二人以上の世帯 「総務省」

2. 生産活動 …… 新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では下げ止まりつつある

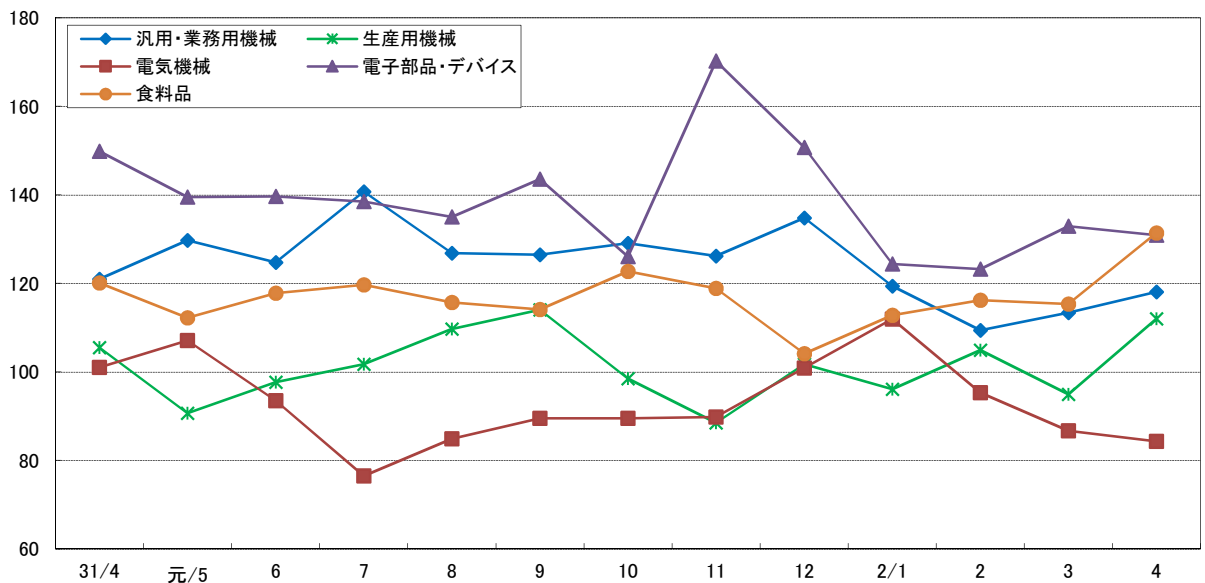
電気機械は減少しているものの、足下では下げ止まりつつある。また、生産用機械、食料品などは増加している。これらのことから、生産活動は感染症の影響がみられるものの、足下では下げ止まりつつある。



	31/4	元/5	6	7	8	9	10	11	12	2/1	2	3	4
県・生産指数	110.7	109.0	107.4	106.5	107.4	108.8	106.4	106.9	107.4	108.1	107.1	102.1	107.9
前月比	▲ 1.4	▲ 1.5	▲ 1.5	▲ 0.8	0.8	1.3	▲ 2.2	0.5	0.5	0.7	▲ 0.9	▲ 4.7	5.7
前年同月比	▲ 13.7	▲ 18.8	▲ 18.1	▲ 15.9	▲ 15.4	▲ 3.9	▲ 13.4	▲ 11.7	▲ 6.7	▲ 7.2	▲ 9.0	▲ 7.7	▲ 1.2

「山梨県」

鉱工業生産指数の推移（業種別）（季節調整済 H27=100）

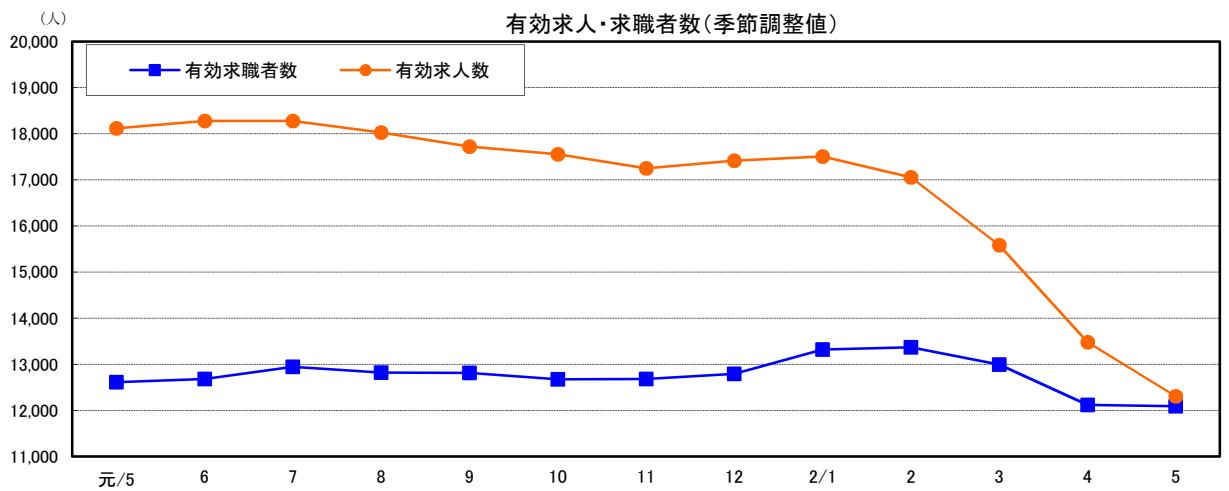
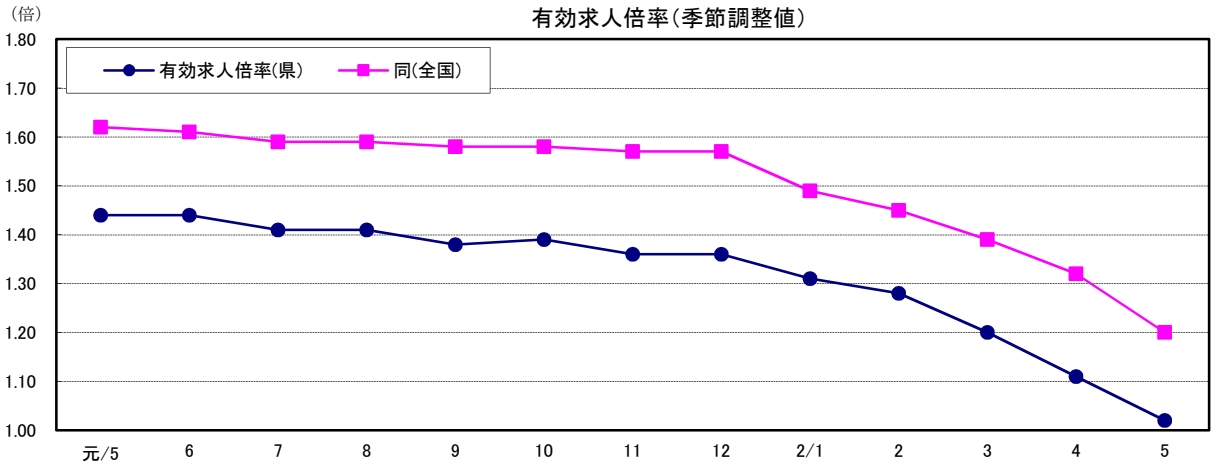


	31/4	元/5	6	7	8	9	10	11	12	2/1	2	3	4
汎用・業務用機械	121.0	129.7	124.7	140.7	126.8	126.5	129.1	126.2	134.8	119.4	109.4	113.4	118.1
生産用機械	105.5	90.7	97.7	101.7	109.7	114.0	98.5	88.5	101.7	96.1	104.9	94.9	112.0
電気機械	101.0	107.1	93.5	76.5	84.9	89.5	89.5	89.8	100.9	111.9	95.3	86.7	84.3
電子部品・デバイス	149.8	139.5	139.6	138.5	135.0	143.5	126.0	170.2	150.7	124.4	123.2	132.9	130.9
食料品	120.1	112.2	117.8	119.7	115.7	114.1	122.7	118.9	104.1	112.8	116.2	115.3	131.4

「山梨県」

3. 雇用情勢 …… 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている

有効求人倍率は感染症の影響により低下しており、弱い動きとなっている。



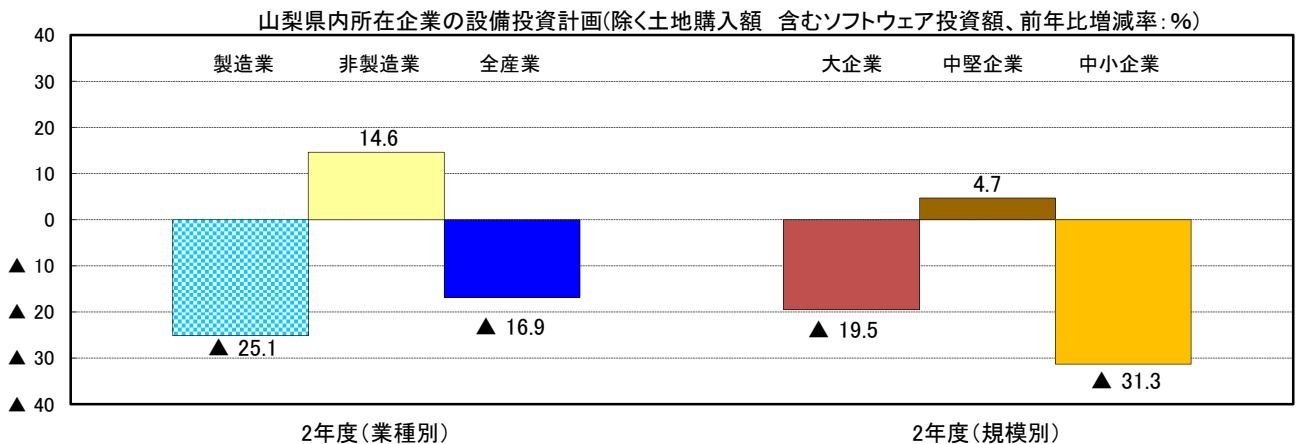
(単位:倍、人)

	元/5	6	7	8	9	10	11	12	2/1	2	3	4	5
有効求人倍率	1.44	1.44	1.41	1.41	1.38	1.39	1.36	1.36	1.31	1.28	1.20	1.11	1.02
有効求職者数	12,612	12,680	12,943	12,822	12,813	12,675	12,683	12,791	13,317	13,371	12,993	12,117	12,092
有効求人人数	18,115	18,280	18,275	18,026	17,722	17,555	17,247	17,414	17,508	17,055	15,582	13,477	12,305

「山梨労働局・厚生労働省」

4. 設備投資 …… 2年度は減少見込みとなっている (全規模・全産業)

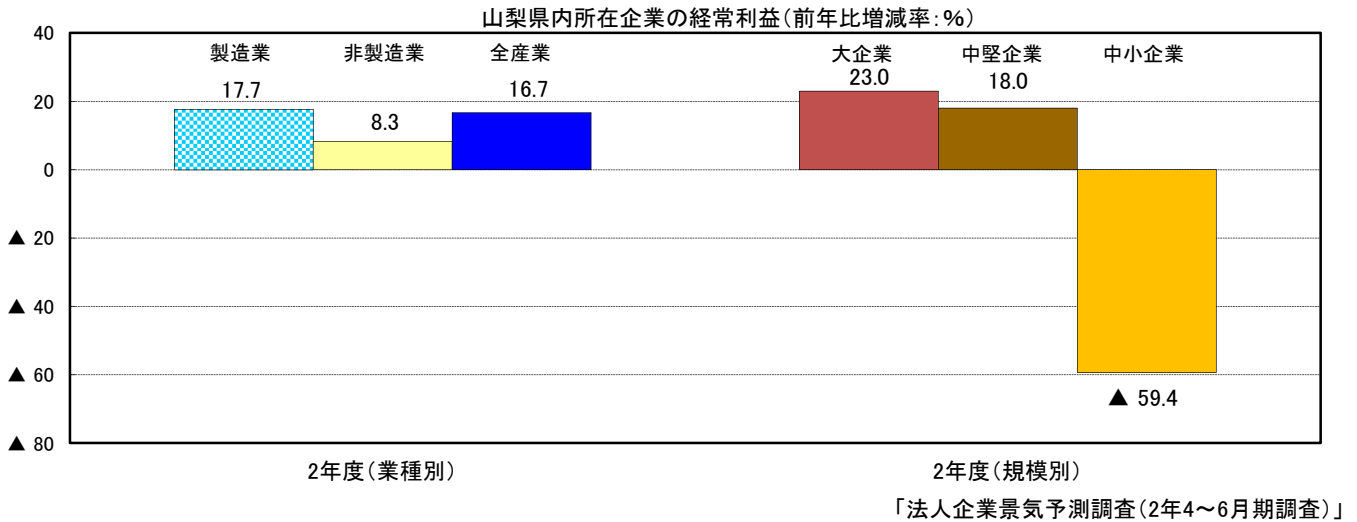
2年度の設備投資計画をみると、製造業では前年比▲25.1%の減少見込み、非製造業では同14.6%の増加見込みとなっており、全産業では同▲16.9%の減少見込みとなっている。



「法人企業景気予測調査(2年4~6月期調査)」

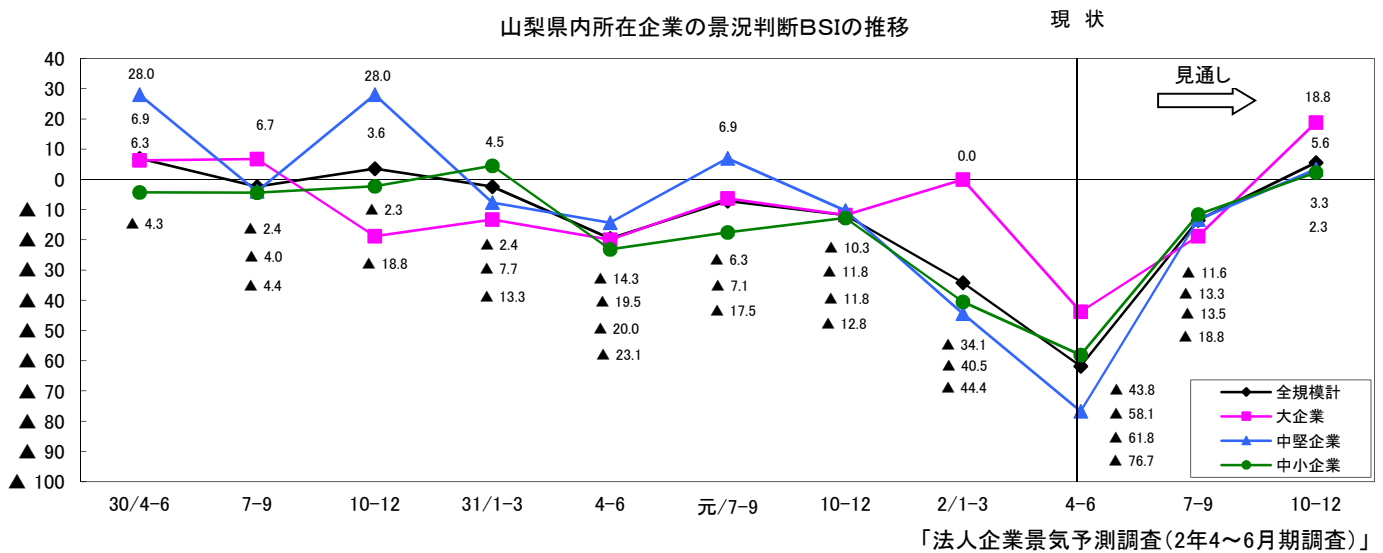
5. 企業収益 …… 2年度は増益見込みとなっている (全規模・全産業)

2年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)をみると、製造業では前年比17.7%の増益見込み、非製造業では同8.3%の増益見込みとなっており、全産業では同16.7%の増益見込みとなっている。



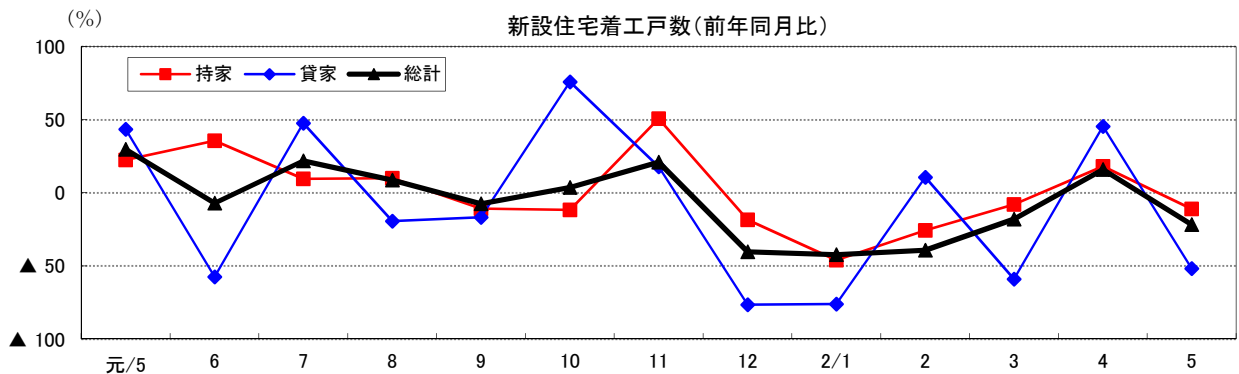
6. 企業の景況感 …… 「下降」超幅が拡大している (全規模・全産業)

景況判断BSIをみると、全規模・全産業ベースで「下降」超幅が拡大している。先行きについては、全規模・全産業ベースでみると、2年7~9月期に「下降」超幅が縮小する見通しとなっている。



7. 住宅建設 …… 前年を下回っている

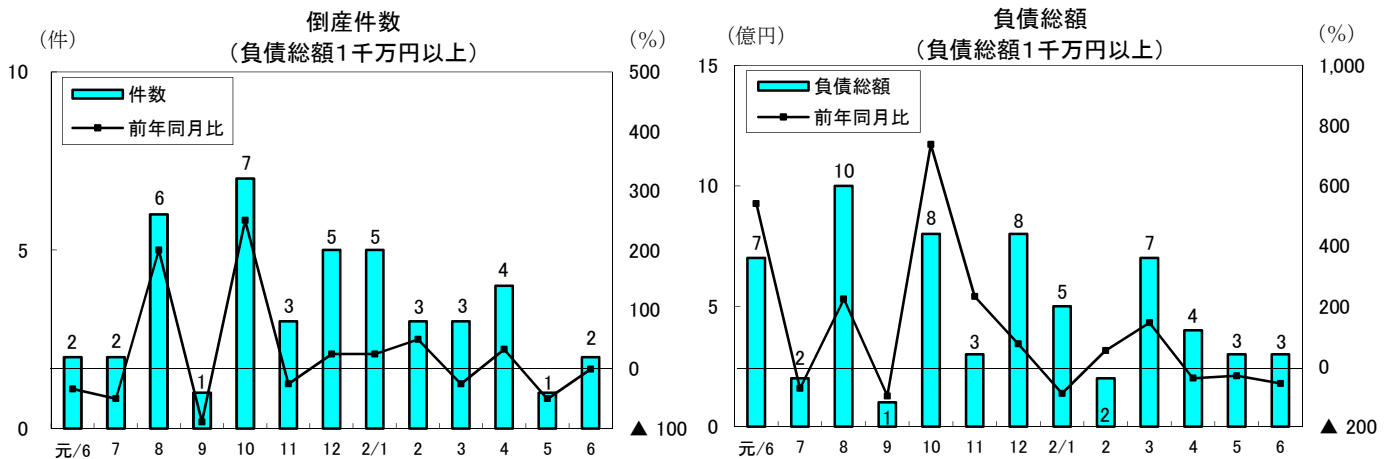
新設住宅着工戸数をみると、持家は前年を上回っているものの、貸家は前年を下回っており、全体として前年を下回っている。



「国土交通省」

8. 企業倒産 …… 前年同月と同じ件数となっている

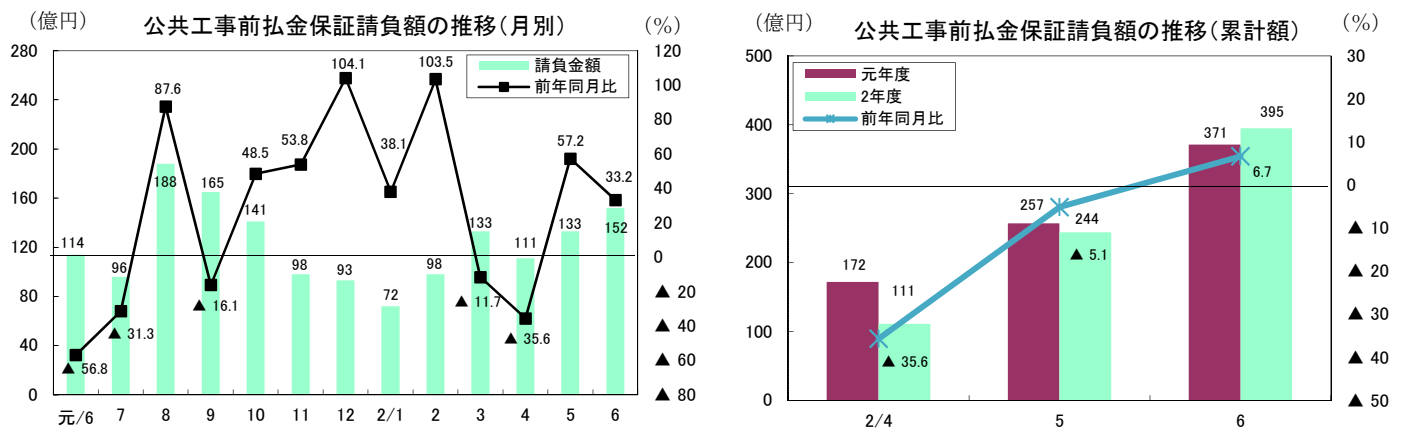
企業倒産(負債総額1千万円以上)件数は、前年同月(2件)と同じ件数となっている。
負債総額は295百万円と前年同月(680百万円)を下回っており、対前月比では7百万円増加した。



「(株)東京商工リサーチ 甲府支店」

9. 公共事業 …… 前年を上回っている

公共工事前払金保証請負額(月別)は前年を上回っている。



「東日本建設業保証(株)ほか」